



なでしこだより 5月号

〇〇ひとみ かがやく なでしこキッズ〇〇

ホームページアドレス <https://nadeshiko-yo.koto.ed.jp/>

令和8年4月28日
江東区立なでしこ幼稚園
園長 松岡 克恵



ヤゴとの出会い

副園長 菅原 晶子

園庭ではイチゴやヒメリンゴの花がやさしく咲き、春から初夏へと季節の移ろいを感じられるようになりました。昨年度、園児や保護者の皆様と一緒に造ったおさかな池では、メダカが氷面に姿を見せ、気持ちよさそうにスイスイと泳いだり、大きなカエルが遊びに来たりしています。

今年度は昨年度みんなで造ってきた園庭を活かし、こどもたちが様々な刺激を受け、諸感覚を働かせ、気付きや発見を重ねていけるようにしていきたいと思っています。



池にある水草（アナカリス）にアオミドロが絡みついています。一度アナカリスを引き上げ、別の容器でアオミドロを剥がす作業をしていると、必ずと言っていいほどヤゴがつかってきます。そのヤゴをこどもたちが見えやすい容器に入れると、すぐに集まってきて「これ何?」「クモじゃない?」「あっ! うさぎ組（昨年）の時買っていたオタマジャクシが大きくなったやつだ!」と興味津々にのぞき込んできました。先生がそっと図鑑を傍に置くと、様々な虫を採取したり飼育したりする経験を重ねてきた年長児は、何という虫なのか、何を食べるのかに関心をもち、図鑑で調べたり友達同士で情報交換したりしていきます。それを傍でじっと見たり、静かに話を聞いたりしている年中児は、その知ったばかりの知識を先生や友達に思わず言葉にして伝えていきます。

ヤゴをじっくり観察し、「動いた!」「食べたかも!」と小さな発見に心を動かしたり、園庭にある石を動かしたらダンゴムシやミミズが出てきて驚いたりする体験など、な

でしこキッズたちは、身近な自然に触れて、様々な感動体験を重ねています。未来を担うこどもたちが「みんな、かがやく!」ことを目指し、こども自身が自ら「何だろう?」「どうすればいいんだろう?」と考える中で気付いたり、わかったりするようになる楽しさを味わえる(=主体的な学び)ようにしていきたいと思っています。さあ、5月になりヤゴはどのように成長していくのでしょうか!? わくわくしますね!